

一般質問



学童保育所・クラブの充実

**問** 学童保育所・クラブの待機児童の解消等の取組状況は。

**答** 待機児童ゼロに向けたパッケージを策定しており、処

遇の改善等による支援員の確保、既存施設での受入拡大や預かり時間の延長等を行う。

**再発言** 女性が働き続けられる環境整備をお願いしたい。

教育環境の整備

**問** 小中学校等にウオータークーラー（冷水機）の設置を。

**答** 中学校には1、2基設置しており、小学校・特別支援学校には設置していない。

**再発言** 手軽で安心な熱中症予防効果の高いウオーターク

ーラーの設置を検討されたい。

白川排水区の浸水対策

**問** 白川排水区整備事業の進捗状況は。

**答** 第1期計画は大黒町、下白川町、中白川町、城町等の約80ヘクタールを対象として整備を進めており、白川ポンプ場は本体工事が完了し、6月1日から稼働させている。

**再発言** 第2期計画は地域の意見要望を聞いて取り組んでもらいたい。



教職員の働き方改革  
教育委員会の本気度は

**問** 教職員の働き方改革について、昨年度の進捗状況は。

**答** 超過勤務時間の月平均は、小学校で約55時間、中学・特

別支援学校で約48時間。年間360時間超えは小・中・特別支援学校全体で417人。超過勤務時間の前年同月比10%削減達成率は学校全体で43%である。

**再発言** 「人が増えるか仕事が減らなければ変わらない」というのが現場の声。行事・業務の見直しをしっかりと。

コロナ禍での人権への配慮

**問** 差別や誹謗中傷が感染への不安をあおり、差別を恐れて受診や情報提供をためらい、

感染拡大につながる。本市では児童生徒や教職員が感染した際、学校名を公表しており、それがさらなる学校からの公表につながり、関係者が苦しまれる事例もあった。県内ほとんどの自治体が公表しない中、公表する理由は。

**答** 市民に事実を伝えることで、憶測による不安や混乱を招かないように公表している。

**再発言** 情報の拡散が人権侵害につながることを啓発し、意識を変えるのが自治体の責務。人権に配慮した対応を。



女性農業者の活躍推進について

**問** 農業経営者でなければ認定農業者になれないため、認定農業者数は女性の経営上の地位を見る上で重要な指標で

あり、2020年の国の認定総数に占める女性の割合は5%。女性が農業において活躍するためには、地域の農業界にいる男性の理解、すなわち能力と意欲のある女性が活躍することを阻もうとせず、後押ししてくれる考え方を持つ男性の存在が必要。農業経営への女性の参画推進など、女性農業者の地位向上にどのように取り組んできたのか、今後どのような取組を行うのか。

**答** 食育活動の視点からも、女性農業者グループによる料

理教室などに取り組んできた。今後、このような取組を含め、そういった活動を推進したい。

**再発言** 女性農業者とその能力を十分に発揮して活躍でき、農業が女性にとって魅力ある職業として選択されるよう、女性農業者の活躍推進に向け、女性の農業委員・農地利用最適化推進委員の登用、女性農業者のネットワークづくり、女性が働きやすい環境整備、女性農業者のスキルアップ支援など、様々な角度からしっかりと支援を求める。